

令和元年度キャリア教育講座

令和元年度第1学年キャリア教育講座を実施しました。たくさんの地元企業、機関にご協力をいただき、多くの生徒の訪問を受け入れていただきました。大変ありがとうございました。

1. 目的 実際の職業見学を通して職業人としての在り方・生き方を学び、高校生としての職業観を身につける。また、その職業に至るまでのプロセスを理解する。
2. 日時 令和元年7月18日（木）
3. 訪問先一覧

	訪問先	内容
1	伊藤・野条法律事務所	・ 弁護士としての仕事内容説明 ・ 資格取得について ・ 高校時代に身につけたいこと
2	福井地方裁判所	・ 裁判官、調査官等についての説明 ・ 法廷見学（傍聴または模擬裁判）
3	福井新聞社	・ 新聞記者に求められること ・ 国際的な情報と地元情報の整合 ・ 紙面作りについて
4	福井銀行事務センター 福井銀行大和田支店	・ 施設見学 ・ 講話
5	福井大学教育学部	・ 講話、実際の授業に参加 ・ 学生とディスカッション
6	福井県立大学 経済学部	・ 経済学が将来どのような職業につながっていくか。 ・ 経済学を学んだ者として（経験から）
7	福井総合病院	・ 4つのコース（医学・薬学・看護学・理学療法）に分かれての講習
8		
9		
10		
11	福井コンピュータホールディングス株式会社	・ 3D、VR、WEBアプリ体験 ・ 会社説明、職種紹介 ・ 職場見学
12	福井大学大学院 工学研究科	・ 大学教授という仕事 ・ 研究室見学



生徒の感想

【佐藤・野条法律相談事務所】

① 今回の経験で、今までただ漠然としていた私の中での法律関係の仕事に関する憧れがより具体的になりました。私はドラマなどを見て法律関係の仕事に興味を持ち、憧れていたため、現実的なことや実際に仕事に就く過程を学ぶことができ本当に良かったです。特に野条さんから、弁護士としての職業のやりがいをお聞きしたときは、思わず「かっこいい！」と心の中で叫んでしまいました。今までは、憧れを持っていたのと同時に、「大変なんだろうな。」とか「きっとおかたい感じなんだろうな。」と思って、少し私の中で法律関係の仕事に対して敬遠していたところがあったけれども、最も印象的だった「自由」のお話をお聞きして、もう一度「法律関係の仕事に就いてみたい」と私の中で心情に大きな変化があり、貴重な体験をすることができました。

② 僕は最近法学に興味を持ち始め、弁護士の仕事を詳しく知りたかったので、今回のお話は将来の進路や目標を考える上で大変参考になりました。弁護士になるには司法試験に合格すればよいのかと思っていましたが、試験を受ける受験資格があること、試験に合格しても司法修習が1年間あることなどは初めて知りました。僕が最も印象に残ったのは、弁護士は「自由で独立した存在」であるということです。僕はあまり人の言った通りに行動するのが好きではなく、「これは明らかにおかしいのではないか」と考える時があり、将来は比較的自由に行動できる職に就きたいと思っていたので、この「自由」な点に魅力を感じました。しかし、それだけ一個人としての責任が重大であることもお話を聞いて学びました。今回知ったこと、学んだことを将来の進路選択や職場で活かしていきたいと思います。

③ 私はまだ将来どんなことをして人の役に立つといいか分かりません。ですが、小学生の時から弁護士ってかっこいい仕事だなと思っていました。今も将来弁護士になるのもいいかもなと思っていたので、今回お話を聞かせていただきました。私は、今まで弁護士のイメージは裁判をする仕事メインだと思っていました。ですが、世の中の様々なもめ事を法で解決するという、思っていたよりも幅広く仕事をしていることを知りました。また弁護士になるには長い道のりを通過しなくてはいけないので、世の中にはあんまり弁護士の方がいない事も初めて知りました。今回お話を聞いたことで、弁護士になる事は大変だし、なってからも大変だけれども、やりがいがあり、今まで以上にこの仕事に興味を持ちました。また、これまで以上に勉強に熱心に取り組んで、自分の将来の可能性を広げていきたいです。今回この講座に参加したことによって、たくさんのお話を聞くことができ、中身の濃い時間を過ごすことができたので、すごく良かったです。

【福井地方裁判所】

① 裁判のことは、現代社会の授業やドラマなどで知っていたけれど、裁判官や家裁調査官という仕事についてはまったくと知っていませんでした。裁判官になるには必ず法学部を出ていなければいけないと思っていたけれど、農学部から裁判官になった人もいて驚きました。また、裁判所には裁判官以外にも書記官や家裁調査官という役職の人もいて分かって、たくさんの方が裁判に関わっていることを改めて実感しました。私は、今日、家裁調査官という仕事に興味を持ちました。犯罪を起こしてしまった少年の人間関係や気持ちを考慮した上で、よりよい解決を目指すという仕事に魅力を感じました。

② 自分自身が法律関係の仕事に興味があるので、実際の裁判所にお邪魔させていただく機会を得て光栄でした。司法試験の成績上位者が必ずしも裁判官になるわけではないと聞いて（よい意味で）個人的にほっとしました。知識として知っていることも多かったのですが、それを実際目の当たりにして、「裁判所の法廷の空気は凄く緊迫しているな」と感じました。「百聞は一見に如かず」とはまさにこのことだと思いました。

③ 今回の訪問で特に印象深かったのは、わたしたちにお話しをしてくださっているときのみなさんの表情でした。やはり、公平な立場で解決するという事は、人の人生を大きく左右することなので、大変なプレッシャーと責任があると思います。しかし、その分、毎日努力を怠らずに、誇りを持って司法の仕事に携わられているのがとてもおよく伝わってきました。

また、裁判官以外にもさまざまな職種があることを始めて知りました。特に法律学だけでなく人の心や人間関係までを調査して、当事者と向き合う家裁調査官の仕事はとても興味深かったです。これまで、裁判所という場所は自分にとって遠い存在でしたが、今回の訪問でより身近に感じることができました。

【福井新聞社】

① 今回初めて新聞社を訪問させていただきました。毎日、新聞は読んでいるけれど知らないことがたくさんありました。例えば国内外の記事は共同通信から送られてくることや、取材が記事になるまでの流れなどです。このようなことを知ることができて、新聞に対する興味や関心をさらに持つことができたと思います。また、キャリア教育講座ということで入社に関してのこと、職場の環境などについても知ることができて、とてもよい機会となりました。新聞社で仕事をするのもやりがいがあるなと思いました。私はまだ将来したい仕事が決まっていなくて、今後もこのような行事に参加して仕事についてもっと考えていきたいなと思いました。

② 今回の講座に参加し「毎日、新聞を読みたい」と思うようになりました。記者さんたちやデスクの方達、見出しやレイアウトを考える方達など、多くの方が新聞作りに関わっていて読者に知ってもらいたい情報を正確に伝えるために私たちが寝ている時間も働いていらっしゃることを知ったからです。そんなにも思いが詰まっている新聞を読まないのはもったいないと感じました。また、記者という仕事は様々な業界で働く人たちと接する機会があるため日々の刺激を受け、成長できる仕事なのだという話を聞き、大変魅力的だと思いました。私はまだ、将来何の職業に就こうか迷っていますが、今回の講座に参加して選択肢が増えました。インターンシップなどに参加できる機会があったら是非参加したいと思います。

ありがとうございました。

③ 新聞社は、とにかく時間との闘いで、夜中まで働く大変な仕事というイメージがあったけど、やりがいのある仕事だということがわかりました。自分の学部もあまり関係ないので将来の選択肢として考えてもいいなと思いました。特に人と会って仕事をしながら生涯学ぶことができることに魅力を感じました。人とつながることで人の役に立てる仕事なのでいいなと思いました。また、私の家も福井新聞をとっているため、福井をよりよくするために新聞を少しでもいいから読むようにしたいなと感じました。これからは自分の興味のある職業をよく知るために企業訪問に積極的に参加し、将来に役立てていきたいです。

まず社会人としての「意欲」「仕事への使命感」を持った人が熱心に働き、社会に貢献できるということを改めて痛感しました。特に今回見学した福井新聞社で働くには、その力が必要だと思いました。「取材」「編集」「会議」どの家庭にも自分で考え、相手に伝え、いかに読者にわかりやすく多くの情報を正確に伝えるかそんな思いが伝わりました。

また、新聞の正しい読み方も教えていただきました。大きく「①朝パラ②見出し追い③関心のある面を見る」で、僕も意識せずに行っていたことでした。新聞は見出し、リード、本文の順に内容が詳細になっていくようにつくられているので、朝の10分でも世の中のことを把握できます。今日の訪問でより新聞に関心を持つことができました。

【福井銀行大和田支店】

① 銀行のお仕事は想像していたよりもたくさんあって大変だということがわかりました。人と人とのつながりがとても大切な仕事だということがわかりました。裏側からお客さんの様子を見たり、普段はできない貴重な体験をすることができて良かったです。銀行は私たちのとても身近な存在ですが、どのような仕事をしているのかは知らなかったため、今回学ぶことができて良かったです。銀行の仕事以外で福井の魅力を知ってもらうような仕事をなさっているのも驚きました。今回色々なことを学べたので、とてもよい1日になりました。本当にありがとうございました。

② 私は今まで自分が銀行に行って入金したことも無かったので、今回銀行の営業以外のお仕事やカウンターの裏側まで見ることができ、銀行を今までより身近に感じられるようになりました。銀行はお金の受け渡し以外にも、ローンの相談や保険の相談もでき、自分も将来利用したいと思いました。営業の方でもいくつかの仕事に分かれていて、全ての仕事を体験するというところに驚きました。普段は見ることができない仕事の裏側を見ることができたのは貴重な体験になりました。私が想像していた銀行の仕事以外にもたくさんの仕事があり、新しい知識を得ることができました。今回得た知識をこれからは生かしていきたいです。

③ キャリア教育講座を通して、普段自分が身近に利用している銀行について多くの初めてのことを学ぶことができました。特に、銀行で窓口に座っているテラーと呼ばれる方、さらにその奥に渉外係、資産運用係と様々な仕事があるということ、実際に見学させて頂いて良かったです。また、ほぼ全員が融資係などのすべての係で働くことができるということも初めて知りました。将来、大学のお金などでも銀行を利用することになると思いますが、学生一人一人にあったプランがあるということに驚きました。今日を通して、自分の知らない銀行の変化や取り組みを多く知ることができたと思いました。今日得た知識を忘れずに、将来お金について考えていきたいと思っています。

【福井県立大学経済学部】

① 僕がまず藤野さんの講演を聞いて驚いたことは、研究者の中でも、さまざまな種類があるということです。製品やサービスを世に出すことばかりが研究者の仕事だと思っていたので、人間の心理や社会の状況など幅広く研究する深みのある仕事だと知って衝撃を受けました。また、藤野さんの「さまざまな経験を経て、自分を知ってから仕事に就く」という話を聞き、将来の進路が明確に決まっていない自分も、まずはさまざまな経験を経て自分のやりたい事や得意な事を見つけるようにしようと思いました。藤野さんの話の中には、経済学部についての内容だけでなく、「仕事に行き詰まった時の解消法」など、これからの人生を歩む上での参考になる内容もあり、とても有意義な時を過ごす事ができました。後半の大学の見学では、図書館や外国の方々と触れ合える教室などを見て、大学は素晴らしい設備が整っているんだなと実感できました。

② まず、自分が専門にしている分野だけを学ぶのではなく、他の関係のない分野も学んでみることで将来思いもよらないところで使えることもあるとわかりました。藤野先生は工学だけでなく心理学と経営学も学んだことで、その3分野の専門という自分の専門性をつくることができたという話を聞いて、私は今まで、今必要なことや、テストに向けて必要なことしか覚えたり学んだりしていなかったもので、それを改めて、将来の学習をしていきたいと思いました。また、人それぞれ様々な人生があつて、一度うまくいかなくても、それですべてが決まるわけではないこともわかりました。私は今まで、一度失敗したらそれでだめだと思っていたので、これからはもう少し失敗を恐れずにいきたいと思いました。

③ 今日は、藤野先生から貴重なお話をいただきました。様々な視点から「研究者」というものを見つめることができたと思った。研究をすることで、世にどんどん新しいものや考えを発信できるので、それが興味深い点だった。この先、大学で体験するようなことについても教えてもらえた。これから益々、研究者は新しいものを生むという重要な立場となっていくと思うが、それについて聞いたので視野が大きく広がった。これから、高校でも大学でも厳しい壁に当たるかもしれないが、自分自身の土俵を築いて頑張りたいと思う。今日、時間を割いて視野を広げてくれた藤野先生に、とても感謝しています。

【福井総合病院】

① 先日、足を痛めてしまったため、福井総合病院を訪れたばかりでした。その際は、丁寧にかつ優しく診察していただきました。本当にありがとうございました。今回はキャリア教育講座の体験として再度訪れることになりましたが、診察室以外の様々な部屋へ私たちを連れていていただき、私は驚きと興奮の連続でした。特に印象に残っているのは手術室です。実際に医療器具を使って手術の疑似体験を行ったことです。私は実際に行ってみて非常に難しく感じ、身体も精神も疲労する職業だと痛感すると同時に、医者は改めてすごいなと思いました。また様々な話を聞いて、努力を怠らないことは医者になるために必要だと考えました。このことは仕事だけでなく日常生活でも通ずることです。だから私は人よりも努力して立派な医師になるために、これからの準備をしていきたいです。本日は、貴重な時間を割いて教えてくださりありがとうございました。

② 今回は貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。今回、私は脳外科の橋本先生のご指導の下、様々な体験をさせていただきました。実際に手術室に入って感じたことは、医療はいろいろな人の協力によって成り立っているということです。実際に縫合や吸引をやってみましたがとても難しかったし、周りには先生以外にもサポートしてくれる方がいらっしゃいました。「チーム医療」というのをこの身で感じる事ができました。また、「医学」といっても様々な道があるということがわかりました。私の父や祖父は医者なのですが、彼らばかりを見ていたので視野がすごく狭かったことに気づきました。もっと広く関心を持ちながら、これからの学校生活を送っていこうと思います。ありがとうございました。

③ 今回、見学させて頂いて、最も心に残っているのは「チームワークが大事」という言葉です。確かに「先生」という単語を聞くと、上下関係があるように思えるし、実際にあるだろうけれど、実はみんながお互いを必要としていて、誰か1人でも抜けてしまうと成り立たなくなる、そんな深い絆でつながっていくのだと強く感じました。それに、私も、医療の「仲間と一緒に患者を救う」そんな部分に惹かれました。人の命を扱う、大変な現場だからこそ、この連携プレーが印象的だったのだと思います。医者という仕事は決して簡単にできるものではないし、多忙でもあるけれど、1人の医師として生きることは本当にすごいなと改めて実感しました。様々な機械や手術の様子を観察させていただいて、とても貴重で為になる体験ができました。本当にありがとうございました。

【福井コンピュータ】

① 僕はIT企業は理系の種類の職場だと思っていましたが、文系の人もたくさんはたらいしていることを知ることができて安心しました。ソフト開発と聞いていたので、ゲームなどを想像していましたが、建築土木業者向けのソフト開発と知って驚きました。僕も以前、ソフト開発ではありませんが、建築士になりたいという夢を持っていたことがあったので、視野を広げることができて嬉しいです。この会社は3D CADソフトウェアを売りにしていて、今までに聞いたことのない職種だと思いました。VR体験を通して、3D CADの良さである規模感と没入感を感じることができました。また、3D CADの開発といっても福井コンピュータは効率を売りにしていて、8倍になることで国内シェアが50%を記録していることが分かりました。今日は新しい職業観を得ることができて良かったです。

② プログラミング言語が会社によって使うものが違うこと、そして、それをしっかり研修するということが初めて知りました。プログラミング言語は違っていても、プログラミングをしたことがあるということは、どういうものを入力すればソフトウェアがこう動くというようなアドバンテージがあるようなので、私は将来、福井コンピュータの中の開発職のようなものに就きたいと思いました。また、VR体験を通してデジタルの中の世界は本当に良いものだとして再認識しました。モデルを作るスペースやコストを削減できるし、現実では不可能なこともできます。これからの時代はさらに様々な分野で活用され、やがては一般の人の近くにも多く存在するだろうと思いました。そのような世界を想像するだけでも心が躍り、そのような技術を駆使して私も役に立つものを作り上げていきたいです。また、社会人としての立ち振る舞いも勉強することができました。言葉遣いや態度など、見習わなければいけないところが多々あり、自分が社会人になるためには、まだまだ足りないと感じました。今日は短かったけれど、とても有意義な時間を過ごすことができて良かったです。

③ 今回訪問した福井コンピュータは、主に建設業の中の設計などに使われるCADソフトを作っている会社でした。最初は開発を行っているだけだと思っていましたが、他にも事務や営業、ソフトの利用についての説明をするサービス部などいろいろな働き方があったことがわかりました。会社は20年前に建てられていて、今もとてもきれいで、中には食堂や仮眠もできる和室、そして体育館まであり、とても社員が働きやすい環境が作られていると思いました。VR体験では実際にバーチャルの家の中に入り、いろいろな家具を変えたり、ベランダからの景色を見たりしました。VRはゲームだけだと思っていましたが、まだまだいろんな分野での活用の余地があるのだと感じました。とても楽しくて、良い体験となりました。

【福井大学大学院工学研究科】

① 研究には専門外の分野も必要であることを学びました。私は普段、生物や現代社会の授業をおろそかにしていましたが、意識を変える必要があると感じました。また、これからの時代は英語がより重要になることを再認識しました。同時に国際性も必要で、さらに自国の文化を説明できたりより深い教養があったりすると外国人との交流も深まり、自分の世界が広がっていくことが分かりました。「運」は自らの努力によって引き寄せることが出来ることも学びました。私もこの教訓を生かして自らの運を手に入れるための努力(勉強)を怠らず、日々精進することを心に誓いました。

② 末先生ありがとうございました。先生の努力の大きさを知ってたいへん勉強になりました。研究というものは多額の費用を費やさないと出来ないということを知り驚きました。教授としての仕事は大部分が学生への講義だと思っていたのですが、実際には週2回しかなく、研究の方に重きがあることを知りとても印象に残りました。他にも論文の執筆や、発表、審査など、とても多くの仕事があったたいへんだなと思いました。今回の講座は私の進路選択に役立つ貴重なものとなりました。ありがとうございました。

③ 非常によい勉強になりました。末先生のおっしゃっていた「研究はオンリーワン」という言葉が心に響きました。この言葉を聞いて研究への考え方が変わり、研究への意欲が沸いてきました。また、大学教授になる場合、博士号が必須で助教授(助手)になるのが壁であることを知り、大学教員になるのは想像以上にたいへんであるが、その分大きなやりがいがあることを感じました。そして大学教員になるためには運に向かっての努力が必要だというご指摘は、とてもユニークで共感することが出来ました。私は将来研究に携わりたいと思っているので収穫の多い半日となりました。先生、本当にありがとうございました。

御礼

御多忙の折にもかかわらず、本校の生徒の職場訪問を受け入れていただき、誠にありがとうございました。普段接することのない現場の空気に直接触れ、また、皆様からの丁寧な説明もいただき、生徒にとりまして貴重な体験の場となりました。これからの生徒自身の進路選択に役立つ貴重な時間を提供くださいましたことに厚くお礼を申し上げます。今後とも本校教育活動に御支援と御協力を宜しくお願い申し上げます。